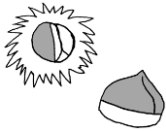




平成29年9月29日
横浜市立笹野台小学校



自分の身は自分で守る

校長 倉岡 ナオミ

これは、よく避難訓練の時に言っていることです。最近、特に感じていることですが、子供たちは恵まれた環境の中で、安心して暮らしているのです。どうも、危機を回避する感覚や危険を察知することに疎いのではないのでしょうか。道路を歩いているときでも、車が自分をよけてくれる、それが当然のような姿が見られます。避難訓練においても、先生が誘導してくれるので、言われたとおりに後をつけて行くだけのような感じを受けます。大人が守ってくれると考えてしまうのです。今はスマートフォンなども普及しているので、その操作に気を取られ、道路や駅のホームでも危険な姿を見かけます。周りのことが見えなくなってしまうのです。

また、こんな平和な時代に・・・と思っていましたが、日本を取り巻く状況は緊迫しており、いくつかの基地をかかえる神奈川県は必ずしも安心していられるものではありません。先日は委員会からの通達もあり、子供たちにミサイルが発射されたときの身の守り方について、話しました。危険はいつ起こるかわかりません。

さらに、多くの情報の中には自分を危険にさらすものもあるということも知らなくてはなりません。先日、スクールサポーターさんと話した中では、小学生が自分の個人情報をライン等で流してしまい、それが相手から拡散した被害の事案がありました。一度流出してしまった情報は、どこまで広がるかわかりません。とりあえずわかる範囲での消去はできたとしても、完全かどうかはわからないとのことです。また、悪い情報だとわからず、安易に信用してしまい、事件に巻き込まれそうになった事案もあったそうです。ご家庭では、お子さんの携帯にフィルタリングをして、危ないサイトに繋がらないようにしていますか。もう一度確認し、お子さんとも話し合っていたいただきたいと思います。自らが善悪を見分け、善を選び取っていく力をつけることも、身を守るために大切なことです。

子供たちを取り巻く状況は決して安全だとは言えません。もちろん私たち大人も考えていきますが、自らが自分で周りの状況を考え、判断し、自らを守るための行動がとれるような子供たちにしたいと思うこのごろです。

さて、前期が終了します。あゆみに示されている学力はもちろん大切ですが、そこに現れない判断力や危険回避の力も自分自身を守るための大事な力です。子供の成長を様々な面から考えていきたいと思っています。

秋の交通安全週間は終わりますが。

日の暮れるのも早くなってきました。夕暮れ時は運転者からも通行者がとても見にくくなっています。自転車の乗り方や道路での遊び、遊びの時間などについても、安全とともに近隣への迷惑にならないよう、確認してください。また、家に連絡せずに友人宅などで遅くまで遊ぶこともないようご注意ください。